

クビアカツヤカミキリとは

【分 布】 海外：中国、朝鮮半島、ベトナムなど。

国内：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、岡山県、徳島県、香川県（20 都府県）

【寄主植物】 サクラ、ウメ、モモ、スモモ、ザクロ、ヤナギ属など

【生 態】 幼虫は、生木の内部を摂食し、フラス（木くずや糞）を排出する（幼虫期間：1～3年）。成虫は、6月から8月に発生する。

【防除対策】 フラスを見つけたら、周辺の樹皮を剥ぎ針金を差し込み幼虫を刺殺又は掘り取って捕殺する。成虫は見つけ次第捕殺、樹幹をネットで被覆し飛散を防止する。また、登録農薬による防除を行う。成虫に対しては薬剤を幹や枝に散布するが、幼虫には食入孔に薬液を注入する必要がある。



成虫

幼虫が排出したフラス

※植物防疫所原図